YAMAGATA★IBUKI Vol.150

山形いぶき

YNA　夢・ナーシング・愛

訪問看護ステーションまいづる

当ステーションは平成8年7月に開設し、舞鶴山の四季を感じながら天童市を中心に活動しています。地域の医療機関や多職種と連携を図り、医療的ケアはもとよりストーマケア、小児、難病、終末期など様々な利用者様に24時間対応体制で看護を提供しています。職員は看護師、理学療法士、作業療法士、事務職で構成され、訪問看護認定看護師を中心に研修会を定期的に開催し、質の高い看護の提供を目指しています。また、居宅介護支援事業所を併設し、住み慣れたご自宅で安心して過ごせるよう在宅療養をサポートしています。豊富な経験・実績を活かしチームとして地域に貢献していきます！

所長　須藤美和子

研修中

スタッフ一同

TOPICS

- 会長・新役員あいさつ
- 令和2年度山形県委託の新規事業のご案内
- ナースセンターだより
- 新型コロナウイルス感染症特集
  - ・山形県へ要望書提出
  - ・感染症指定医療機関として
  - ・保健所における対応
  - ・フェイスシールドの作り方・寄贈施設紹介
  - ・訪問看護ステーション所長・運営会議オンライン開催
  - ・企業等からの寄付・支援等物品紹介

令和２年度
会員数（7月現在）

保健師	351
助産師	351
看護師	6,745
准看護師	156
計	7,603

令和２年度通常総会を終えて

公益社団法人　山形県看護協会　会長　井上　栄子

令和2年度山形県看護協会通常総会を終えて、一言ご挨拶申し上げます。

日頃から山形県看護協会の運営に対し、ご理解とご協力いただき、心から感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの対応を医療現場の最前線で対応している医療機関、感染症患者を担当する看護職、一般の患者を担当する看護職そして在宅、行政、看護管理者はじめ医療関係者の皆さまに敬意を表します。

令和2年度通常総会は、新型コロナウイルス感染症の対応として、規模を縮小し開催いたしました。無事終了できましたことに感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の予防・対応が全世界的にも最重要課題であります。日本でも緊急事態宣言が出され、そして解除され、第1波は何とか収まりましたが、いつ2波、3波がくるとは限りません。身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いや「3密（密集、密接、密閉）」を避ける等の対策を取り入れた新しい生活様式で暮らしていくことが求められています。今後の研修体制、会館の利用等について、感染対策を十分にしながら実施していきたいと思います。

さて、2025年に向け、保健・医療・看護に関する様々な施策が進められ、効率的でかつ質の高い医療提供体制と地域包括ケアシステムの構築・推進が図られてきました。一方で、国では、2040年を見据えた全世代型社会保障制度検討会議も検討されています。そして、看護職の役割は益々重要であり、地域のニーズに沿った看護が求められ、あらゆる場で質の高い看護が期待されています。

令和2年度の重点事業は、現状に鑑みて６つの項目で取り組んでまいります。

1. 地域包括ケアにおける看護提供体制の推進と地域の看護力強化
2. 看護職の働き方改革・看護職確保の強化
3. 看護の質向上と人材育成
4. 職能委員会活動の強化と連携の推進
5. 会員拡大に向けた取り組みの強化
6. 継続した公益目的事業の展開

地域包括ケアシステムの構築・推進には、看護管理者等のネットワークづくりが重要であります。日本看護協会の事業2年間、山形県看護協会の「地域の看護力強化支援事業」は3年間になりますが、今後も継続して行い、地域の課題や情報共有等、更なる連携強化になればと思います。

また、訪問看護に関する事業では、日本看護協会・訪問看護総合支援センター試行事業に新たに取り組み、訪問看護の人材育成と推進が図られればと考えています。

そして、「第51回（2020年度）日本看護学会学術集会」は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、当日開催を中止し、WEB学会を開催することになりました。開催期間は、11月1日から30日の1か月間、4開催地7領域全てのプログラムが同時配信となります。山形県看護協会は、「在宅看護」を担当いたしますので、ぜひ多くの皆さまにご参加いただければ幸いに存じます。よろしくお願いいたします。

最後になりますが、会員の皆さまはじめ関係職種の皆さまのご健康とご健勝をお祈りするとともに、「地域とともに築く看護の提供」を目指して活動を進めていきたいと思っております。

これからも皆さま方のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

理事会等の開催報告

令和２年５月22日（金）　第２回理事会（書面理事会）

審議事項
1. 令和元（2019）年度収支決算（案）……〈承認〉
2. 令和2年度公益社団法人山形県看護協会外部監事の選任（案）……〈承認〉
3. 令和2年度選挙管理委員の構成メンバー（案）……〈承認〉
4. 令和2年度職能･常任･認定看護管理者教育課程教育運営委員の選出（案）……〈承認〉
5. 令和2年度第1回山形県看護協会職能･常任･認定看護管理者教育課程教育運営･推薦委員会及び支部長･副支部長との合同委員会の中止について …〈承認〉

令和２年６月19日（金）　第２回理事会

審議事項
1. 副会長の選定（案）……〈承認〉
2. 常任理事の選定（案）……〈承認〉

令和2年4月～6月の山形県看護協会事業実施状況

令和2年	4月 23日（木）	エフエム山形「医療現場の実情について」放送
令和2年	4月 24日（金）	エフエム山形「こころの健康を維持するために」放送
令和2年	4月 27日（月）	新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養に関する協議
令和2年	5月3日～6日	山形子育て応援サイト事業新型コロナ感染症に関する妊産婦対象のメール対応相談窓口
令和2年	5月 19日（火）	山形県へ新型コロナウイルス感染症に係わる要望書提出
令和2年	5月 26日（火）	日本看護学会在宅看護　開催地の会議（web）
令和2年	6月　2日（火）	県政広報番組サンデー5収録（6/14放送）
令和2年	6月　3日（水）	さくらんぼテレビ「看護職の偏見･差別について」収録
令和2年	6月　5日（金）	ダイバーシティーメディア「新型コロナウイルス感染症に係わる看護職の状況について」収録（6/14･22放送）
令和2年	6月 11日（木）	令和2年度日本看護協会通常総会（縮小開催）
令和2年	6月 12日（金）	新型コロナウイルス感染症に係わる軽症･無症状者受入れ療養施設に係わる説明会開催
令和2年	6月 15日（月）	第51回日本看護学会-在宅看護-学術集会抄録選考委員会
令和2年	6月 18日（木）	「山形県新型コロナ応援金」として30万円寄付
令和2年	6月 19日（金）	山形県看護協会通常総会開催（縮小数開催）
令和2年	6月 22日（月）	庄内地域看護管理者ネットワーク会議（web会議(zoom)）

※令和2年4月25日（土）～6月12日（金）
新型コロナウイルス感染防止に係る軽症者等宿泊療養健康管理･相談等事業の取り組み

新役員のあいさつ

副会長に就任して

副会長　佐藤　久枝

この度副会長を務めさせていただくことになりました。2025年問題に加え、収束困難な感染症に遭遇し、保健・医療・福祉の看護職の果たすべき役割はますます深化していると感じております。これまでは、看護協会の組織から何かを得ようとばかり思っておりました。今後は、自身の経験から看護協会活動に貢献できることを模索し、取り組んでまいります。会員の皆さまや先輩方のご指導を仰ぎながら精一杯務めて参りたいと思います。よろしくお願いいたします。

看護職の未来に向けて

常任理事　若月　裕子

このたび、常任理事を務めさせていただくことになりました。

看護職が、専門性を発揮し、やりがいを感じ、地域住民から信頼される存在でいられるよう県内の看護職の皆さまと共に取り組んでまいりたいと思います。

暫くの間、コロナウイルス感染症を意識して、新しい生活様式を踏まえながら活動する事となりますが、必ず素敵な未来があることを信じ、ピンチはチャンスと捉え努力してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

書記担当理事に就任して

書記担当理事　小野久実子

この度書記理事に就任いたしました。新型コロナウィルス感染症によるパンデミックという歴史的な状況において世界が激変している中で、看護職のあり方も大きく変化していくと思われます。書記としての責務を果たすことで、看護師としてさらに学びを深めると共に、山形県看護協会が課せられた役割を最大限に発揮できるように、精一杯務めたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

会計担当理事に就任して

会計担当理事　青木　みさ

このたび会計担当理事を務めさせていただくことになりました。山形県看護協会役員としての責任の重さを痛感しております。

山形県看護協会の基本理念である「使命」、「活動理念」、「基本戦略」を常に念頭におき、先輩方の御指導をいただきながら会計理事の仕事を通じて微力ながら社会貢献をしていきたいと思います。これから２年間よろしくお願いいたします。

助産師職能理事に就任して

助産師職能理事　佐藤　清美

今年度より助産師職能理事に就任しました。身の引き締まる思いでおります。全国を揺るがしたCOVID-19の感染拡大は、妊産母子に関わる者に大きく影響を及ぼし、安全と看護・支援の両立について深く考えさせられました。どのような状況下でも、妊産婦が安心して出産・子育てができるように会員、役員の方々の意見やご協力をいただきながら、活動をしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

看護師職能Ⅱ理事に就任して

看護師職能Ⅱ理事　伊藤　満生

この度、看護師職能Ⅱ理事に就任いたしました。

引継ぎを終え、理事としての責任の重さに不安と緊張を感じておりますが、皆様の御協力を頂きながら取り組んで行きたいと思っております。今年は、新型コロナウイルス感染症により、新たな生活様式を余儀なくされており、在宅領域を支える看護職の皆様にとって感染予防や有意義な研修企画に取り組んで行きたいと思います。

全区理事に就任して

全区理事　菅原　真理

今年度より、全区理事を務めさせていただくことになりました。

今、地域包括ケアシステムの充実が求められている中、看護職が生き生きと働き続けられ、地域に暮らす人々のニーズに応えられるような質の高い看護の提供が重要と考えます。全区理事としての現場の声を県看護協会に届け、またフィードバックできるよう微力ながら役割を果たして参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

監事に就任して

監事　相田　順子

この度、山形県看護協会の監事を務めさせていただくことになりました。責任ある役割をお引き受けし、不安と緊張でいっぱいです。

経験の浅い身ではありますが、会員並びに役員の皆様のご意見ご指導を頂きながら、山形県看護協会の事業が随時的確に活動されますよう、監事の任務を務めて参ります。

昨今の社会・医療の情勢の変化の中ではありますが、看護協会へ貢献できますよう努力致しますので、どうぞよろしくお願い致します。

外部監事に就任して

外部監事　船田　孝夫

山形県看護協会の皆様には、県在職時に「山形県看護師等サポートプログラム」の策定や看護師確保等につきまして大変お世話になりました。

山形県看護協会と御縁があり、このたび外部監事として務めさせていただくことになりました。

協会の基本理念の実現及び諸事業等が一層円滑に推進されるよう精一杯尽力してまいりたいと考えております。

新支部理事のあいさつ

山形支部理事に就任して

山形支部理事　吉田美智子

この度、山形支部理事を務めさせていただくことになり、引継ぎが終わり役割の重さを痛感しています。このような状況の中で、どんな活動ができるのか不安もありますが、在宅(地域)と医療の連携を図りながら、皆さんと協力し新しい形の支部活動ができるか模索していきたいと思います。よろしくお願いいたします。

最北支部理事に就任して

最北支部理事　小松理恵子

この度、最北支部理事を務めさせていただくことになりました。引き継ぎが終わり、責任の重さを改めて感じております。今年度は支部活動の大半を中止せざるを得ない状況にありますが、ご指導を頂きながら、支部役員のみなさんと共に、看護職のネットワーク構築や地域の方々とのつながりを大切にした活動がいつでも再開できるよう努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

さらなる地域連携と看護力の強化

置賜支部理事　片倉恵美子

この度、置賜支部理事をお受けすることになり、役割と責任の重さに大変身の引き締まる思いでございます。置賜地域管理者会の皆様から助言をいただきながら、さらなる置賜地域の看護力向上と地域連携の強化に努めてまいります。今年度はこのような状況下で活動は縮小せざるを得ませんが、「いま、私たちにできること！」を考え、支部役員の方々と力を合わせて活動してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症 特集

新型コロナウイルス感染症に関する要望書提出

危険手当（特殊勤務手当）等の支給及び宿泊費の助成について要望

公益社団法人　山形県看護協会　会長　**井上　栄子**

当看護協会と県看護連盟は、5月19日、県に対して、新型コロナウイルスの感染者に対応する看護職に危険手当支給と、看護職が勤務後にホテルなどに宿泊した場合の宿泊費の支援を求めました。対象は、治療を行う感染症指定医療機関のほか、感染疑いを診察する「新型コロナ感染症外来」などに勤務する看護職で、さらに医療機関が妊娠中の看護職の休業に伴い代替職員を雇用した場合の賃金の補助を求めました。

県庁を訪れ、玉木康雄県健康福祉部長に要望書を手渡しました。私は、「感染リスクと向き合う中で離職者が出る恐れがある。苦労に報いる手当をお願いしたい。」玉木部長は「医療現場でしっかりと力を発揮できるよう、検討していきたい」ということでした。

結果は、6月の県補正予算による主な取り組みで、医療体制の強化や今後の感染拡大の備えとして医療従事者に特殊勤務手当の支給が盛り込まれました。看護職の苦労に報いるために、認めていただいて本当に良かったと思います。

感染症指定医療機関として

ONE TEAMで取り組む新型コロナ対応

山形県立中央病院　副院長（兼）看護部長　**永澤　直子**

令和2年4月、本来であれば、新人看護師・転入者を迎え1年がスタートする新年度の幕開けが、COVID-19、未知のウイルスに対する緊張と不安で始まりました。そこで、4月早々に、新型コロナウイルスに関する対応などで不安や心の悩みを抱えている職員の負担軽減のために、精神科認定看護師を窓口とした相談窓口を設置したり、看護師長会でセルフケアを実践するための学習会を開催したりとストレス軽減に努めてきました。

このように、看護師は、身体的、精神的な影響を強く受けながらも、第1種感染症指定病院としての病院の方針に基づき、病床再編・長期応援などにも柔軟に対応し、さらに専門職としての役割を発揮してくれております。看護補助者においても同様です。感染患者の対応は、所定の病棟ですが、他部署のスタッフからも、応援メッセージなど頂き、病院全体で取り組んでいるという一体感が感じられ、温かい気持ちになりました。研修会、委員会なども、例年通りにはいかず、3密を防止するために、知恵と工夫を絞り出し、感染状況に応じた方法で開催しております。さて、このような中で、大変心強かったのが、管理者同士のネットワークです。また、井上会長はじめ山形県看護協会の皆様からも、折に触れ、励ましの言葉や医療職に対する風評被害防止のため、ご尽力いただいており感謝申し上げます。

温かい応援メッセージ

折しも、今年はナイチンゲール生誕200年の記念すべき年であります。Nursing now キャンペーンに挙げられております「より自立した専門職」を目指し、当院看護部そして病院職員全員が1つとなり、「ONE TEAM」として新型コロナウイルスの対応に取り組んで参ります。

目に見えない未知のウイルスと不安に向き合って

山形県立新庄病院　副院長（兼）看護部長　**加藤多美子**

当院は感染症指定医療機関として、今年3月頃よりCOVID-19疑い患者のPCR検査に対応していましたが、3月31日新庄で初めて陽性患者が出て状況は一変しました。翌日から保健所誘導による濃厚接触者の検査や診察が始まり、通常業務にも影響が出始め院内の感染管理室長や感染管理認定看護師は多忙を極めました。最上・村山地域の陽性患者は県立中央病院へ入院する体制となっていましたが、最上地域から1週間足らずで7名の感染者が出たため、当院も感染症室のある病棟を感染病棟として対応できるよう患者移動を行い、4月15日より全てに介助を要する陽性患者2名から受け入れを始めました。

持病のある職員、親の介護や幼児のいる職員も皆一様に陽性患者の看護を担う事になり、感染の不安を抱え家族への配慮から自宅に帰れない職員もいました。院内での宿泊や官舎を整備し夜勤体制も３－３から３－４へ変更、病院全体でコロナ外来対応への協力体制を組みました。しかし職員の理解や情報不足が聞かれたため、新型コロナウイルス対策本部より感染病棟やコロナ外来の様子を広報し、職員や委託業者全員へアンケート調査を行い、疑問や要望・意見への回答集を出して不安軽減と理解に努めました。また感染防護具のN95マスクや防護衣等も不足し職員に不安が広がりましたが、山形県看護協会や看護連盟からフェイスシールドや防護衣の代替え品などの支援があり、県内外の各分野からも支援物資を頂きとても勇気づけられました。

1日ここで頑張ります

寄り添っています

当院は最上地域の感染症指定医療機関として、住民への感染対策の周知や啓発、老健施設などへの感染対策指導も重要な役割と捉え、今後もCOVID-19感染対策にしっかり取り組んでいきたいと思います。

最前線で未知のウイルスと対峙するということ

日本海総合病院　副院長（兼）看護部長　**中村　美穂**

当院は、感染症指定医療機関として２月に対策本部を立ち上げました。未知のウイルスは不安を駆り立てます。既存の対策マニュアルもなく医療資材も不足する状況下で対応する医療現場は、常にリスクと不安との闘いですが「院内感染を出さない」を徹底しながら、病院長、院内感染対策委員長、感染管理認定看護師を中心に日々対応策を話し合い実践しています。

来院者の検温などマンパワーを必要とする業務は全職種で行い、感染患者を受け入れる病棟では新人の配置換えをするなど看護体制を変更しながら対応しています。家族への感染を心配するスタッフに対してはホテル宿泊の体制を整え、精神面への支援としてはメンタルヘルスサポートチームを立ち上げました。その一つの取り組みとして全職員のご家族へ病院長からメッセージが手紙で届けられました。また、医療職に対する差別的発言や誹謗中傷がある反面、酒田市民をはじめ多くの方々から温かい応援メッセージが届けられています。それら一つひとつにどれだけ励まされているかわかりません。

感染症外来は医師と感染管理認定看護師又は師長（呼出を含め当番制としている）で対応しています。感染リスクのある中で感染症指定医療機関の看護師の使命と認識し、最前線で感染症疑いの患者に対応する認定看護師と師長の存在は大変頼もしく「病院の宝」だと思っています。

最前線の看護師

現在は、第2波に備えマニュアルの見直しや、PCR検査よりも短時間で判定可能な「蛍光LAMP法」の導入、さらにPCR検査を院内で行える体制整備を行っています。

いつ爆発的に感染拡大するかわからない中で緊張感を持ちながらも通常診療は行われていますが、どんな状況であろうと私たちは常に「患者さん中心の心かよい合う温かな看護を提供します」という看護部理念を忘れずに対応してまいります。

新型コロナウィルス感染症の第一波が去って、今、思うこと

公立置賜総合病院　副院長（兼）看護部長　**吉岡　良子**

新型コロナウィルス感染症の第1波が去り、当院は通常診療に戻りつつあります。

県内発症一例目の患者が当院に入院すると聞いた時、「ついに来た。」「これまで様々な感染症患者を受入れ、院内感染を起こさず感染を防御してきた。」と覚悟を決めました。日頃から、第二種感染症指定医療機関として感染症患者を受入れてきましたが、新型コロナウィルス感染症となると病院全体での対応へ変わります。3月31日から軽症、中等症合わせて22名の患者を受入れました。院内の擦式アルコール製剤使用量が格段に増え、流水での手洗いが励行されている証拠として石鹸カスで排水口が目詰まりを起こすくらい“手指衛生5つのタイミング”を職員が遵守していることが明らかになりました。感染を防御するには、正しい知識を持って日々実践することが大切であることを実証してくれました。

季節は春、病院周囲の桜が開花し、街路樹のハナミズキが白やピンクの花を咲かせていましたが、無我夢中の毎日で花を愛でる心の余裕すらありませんでした。看護職自身が感染する、自身が感染の媒介者になるのではないかと不安を感じながら懸命に職務にあたっている最中、差別、誹謗、中傷、偏見を受けたことはあまりにも切なく心が痛みました。一方では、患者さんから頭を下げ「お疲れ様」と労いの言葉をかけて頂き、山形県看護協会の井上会長はじめ皆々様、地域の方々から温かい励ましと感謝の言葉、数々の支援物資の提供を受け、疲弊している心身が癒され看護の仕事の尊さを感じ入りました。

感染防止は正しい知識と実践

平時にできないことは、有事にもできない。平時の備えが有事に試されると言われますが、まさに組織の力が試されます。BCP策定に感染症対策を盛り込む必要性を強く感じています。

新型コロナウイルス感染症 特集

保健所における対応

保健所における新型コロナウイルス感染症への対応

村山保健所　山田　晴美

本年4～5月の“コロナ禍”、保健所では、一般相談及び新型コロナ受診相談センター（帰国者・接触者相談センター）としての電話相談対応、感染者が出た場合の感染拡大防止に奔走しました。

本県で最初の陽性者が確認された頃から相談件数は急増し、村山保健所ではひと頃一日160 件超の電話を受けました。感染症の担当者だけでは到底対応できず、日中は所内各課職員や村山総合支庁職員の応援を受け、夜間は、所内の医療職等が輪番で携帯電話を所持し、相談を受ける体制を組みました。苦言への対応に長時間かかったり、夜間電話当番の際、帰宅途中何度も車を止めて相談を受けたりしたものでした。

感染不安の相談を受け、必要な場合は感染症担当の保健師が「新型コロナ感染症外来」への受診を案内します。PCR検査の結果陽性が判明した場合は、疫学調査や接触者への対応等が急務です。相談業務と並行してそれらを行うには、かなりのパワーが要りました。受診誘導やら疫学調査やらで身動きが取れない時に、所内各担当の保健師が率先して移送等の準備や感染症予防担当の業務を担ってくれたことは、とても頼もしく本当に助かりました。健康危機管理事案発生時に全保健師で協働できるよう、日頃から組織的に連携体制を構築し、人材育成を行っていくことの大切さを痛感しました。

相談時の妖怪（？）頼み

県民の皆様から励ましのメッセージ等をいただき、嬉しいこともありました。御支援・御協力誠にありがとうございました。

市町村保健師等の応援をいただいて

最上保健所　小松　　香

最上地域での新型コロナウイルス感染症の感染者確認は4月1日、まだ県内3例目でした。それから5月4日まで19人の感染者が発生しました。そのため、相談窓口を設置している保健所へ地域住民から１日100件を超える多くの電話相談が寄せられました。最上保健所全体でも７人しかいない保健師は、疫学調査や濃厚接触者の検体採取のための誘導、患者移送等により不在になることが多く、他課の職員からの応援を得ても相談対応が困難な状況となってしまいました。相談体制を早急に確保するため、県庁、最上地域の市町村、OB等の保健師の支援をいただきました。また、保健医療大学から派遣の打診があり、ご協力いただくことができました。特に当地域の市町村からはそれぞれの職場でも少ない人数にもかかわらず、災害派遣時のように快くご協力いただき、本当に有難かったです。

結局、最上保健所では４月～５月の２カ月間で実24人、延105人の保健師の応援をいただき、相談業務（中には苦情もあった）体制を強化して対応できたことで、地域住民の方々の不安にしっかりと寄り添いながら、何とか第１波を乗り切ることができました。

今後も第２波の到来が危惧されていますが、今回の検証を行いながら、対応への準備を進めていきたいと思っています。

最後になりましたが、保健所が混乱している中、十分な受入れ準備も出来ない状況下でご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

積極的疫学調査における関係者との連携

置賜保健所　伊藤　京子

令和２年３月31日、新型コロナウイルス感染症の県内第1例目の患者が、当管内の自動車学校で発生しました。その後も次々と陽性者が発生し、県内69名中26名（６月１日現在）と県内５保健所中最多の発生に対応しました。

感染拡大を防止するには積極的疫学調査が重要になります。検査結果が陽性の場合、本人は入院、家族も生活が一変し大きな不安に襲われます。その不安に寄り添い丁寧な対応に心がけながら、発症前後の本人の行動歴、職場の状況等を聞き取り、感染経路や濃厚接触者を特定することは欠かせません。

事業所の対応では、保健所職員が事業所に出向いて管理職と面接し、疫学調査を実施し今後の対応を協議しました。業務内容や勤務形態の他、職場での本人の行動範囲、同僚との交友関係をできるだけ正確に把握することが、クラスター発生防止に繋がります。多くの従業員にPCR検査を実施した事業所もありました。また、濃厚接触者へは、ＰＣＲ検査後の健康管理や感染予防のための行動をお願いしました。個人情報の保護に関しては、子どもの施設が関係した際、保護者の不安が大きいことやＳＮＳで情報が拡散されたことで、深夜の電話対応に追われ、適切な情報提供の難しさを痛感しました。

今回のような非常事態には、日頃の関係者との信頼関係が鍵になります。第１波終息に向けて、大きな混乱なく対応できたのは、医療機関はじめ多くの関係者の皆様の御尽力の賜物と深く感謝申し上げます。

移送を行って

庄内保健所　渡部　順子

感染症の患者（感染症法：一類、二類、新型インフルエンザ等、新感染症、指定感染症）が感染症指定医療機関等に入院、転院するための移送は感染症法で保健所の業務になっています。庄内保健所では4/5最初の患者発生以降、移送用の専用車両で移送業務を行ってきました。身体状況によって座位・仰臥位のいずれかの姿勢で移送を行いますが、病状によっては救急隊と連絡・調整の上、救急搬送を依頼するなど、安全な移送に留意しました。

法律上の移送は、患者を入院先医療機関まで搬送する業務ですので、検査を受けるための搬送は、本来、保健所では行いませんが、本人・家族等の車で移動できない場合は、公共交通機関もお勧めできないため、例外的に検査のために受診先まで搬送したケースもありました。

移送時は必ず保健師が同行し、他の移送従事者と共に、感染が拡大しないようPPEの着用・消毒等予防策を徹底しつつ、対象者への精神的影響に配慮した必要最小限の感染防御、近隣が対象者へ向ける視線等を念頭にできるだけ短時間で乗降車できるよう準備・調整なども心がけました。

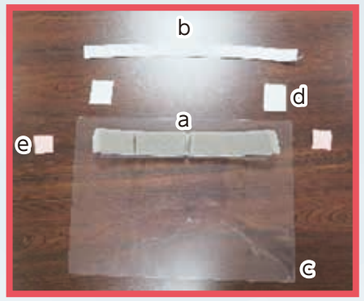
今後の発生に備えて、移送に従事する職員全員で手順の確認を行い、速やかに動ける体制を作っておくことが必要であると感じています。

令和２年６月17日（水）県庁にて山形県トヨタ会様から感染者移送用車両の無償貸与をいただきました。

フェイスシールドの作り方

準備する物

- a すきまテープ（幅３㎝　高さ２㎝）25 ㎝にカットする
- b 幅広ゴム（幅 1.5 ㎝～ 3.0 ㎝）30 ㎝にカットする
- c ラミネートフィルム（パウチフィルム）　A4 サイズ
- d 両面テープ
- e 保護用テープ



手　順

1

ラミネートフィルムに熱をかける。角がとがっている場合は丸くカットしましょう。

2

すきまテープに三か所切り込みを入れ曲げやすいようにする。ラミネートフィルムの内側上端に貼る。

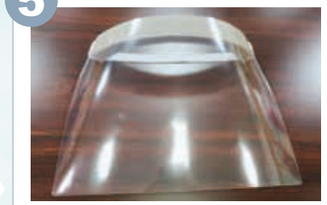
3

ラミネートフィルムの外側の上両端に両面テープを使い、ゴムを貼り付け、ホッチキスで補強する。

4

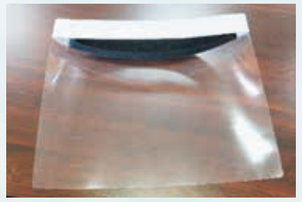
ホッチキス部分が引っ掛からないように、上から保護用テープを貼る。その上にかわいいシールを張ってもGoodだよ。

5



ラミネートフィルム部分をアルコールまたは0.05％次亜塩素酸ナトリウムで拭いて完成！

裏側



寄贈した施設紹介　フェイスシールド等

防護用品が足りないという切実な現場の声を受け、4月21日（火）～ 6月4日（木）まで看護協会職員の協力金によりフェイスシールドを1032個手作りし、感染症病床を有する病院、PCR検査等を行う病院等、訪問看護ステーションに寄贈しました。

山形県立中央病院・山形県立新庄病院・日本海総合病院・公立置賜総合病院
山形市立病院済生館・山形済生病院・鶴岡市立荘内病院・米沢市立病院・三友堂病院
本間病院・順仁堂遊佐病院・山形県内訪問看護ステーション 71 施設

訪問看護ステーション所長・運営会議をオンラインで開催

訪問看護ステーションやまがた　所長　山川　一枝

山形県看護協会訪問看護ステーションでは、県内４つのステーションの所長が月1回、訪問看護会館に集まり所長・運営会議を開催しています。新型コロナウイルス感染症対策として、4月に初めてオンラインで開催しました。所長らはパソコンやタブレット端末のWeb会議サービス「Zoom」を使用し、各ステーションの事務所から出席しました。資料については会議開始前にメールで送り、検討する内容は各自確認しておきました。始めは音声のトラブルなどもありましたが、約1時間の会議を行うことができました。このような不安な状況で顔の見える状態で話ができることは心強く感じました。今回開催してみて、限られた時間を有効に使うことができることを実感しました。まずはWeb会議サービスの時間制限により、通常より会議時間を短縮しポイントを押さえて話し合うことができ、また、会議出席のために所長が1日不在になっていましたが、訪問看護会館までの移動時間の削減によりステーションの業務にすぐに戻ることができることも大きなメリットだと思います。これから感染症対策を踏まえて、新しい生活様式や職場での働き方の新しいスタイルへの変更が求められています。今回、感染症対策の１つとして実施しましたが、業務における時間管理や効率化につながることも期待されます。現在は、協会ステーションの委員会と居宅介護支援事業所連絡会でも活用を始めています。この機会をきっかけにICTを有効活用し、効率的に業務を行っていくことを進めていきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症に係る企業等からの寄付・支援等の物品について

企業名	商品名	配布先
東洋羽毛北部販売(株) 福島営業所	サージカルマスク　約600枚	看護協会訪看STへ
ファンケル	マイルドクレンジングオイル　420本	新型コロナ感染者対応9施設へ
山形県健康福祉部 健康福祉企画課	サージカルマスク　16000枚	県内訪問看護事業所71施設へ
マックル(株)	アルコール消毒　3ℓ	看護協会
	アルコール消毒液(アルコクリーンNV75・17ℓ)	看護協会訪看STへ
フジサンコーポレーション(株)	医療用サージカルマスク　600枚	看護協会訪看STまいづるへ
天童市健康福祉部保険給付課	不織布マスク　1000枚	看護協会訪看STまいづるへ
山形てのひら支援ネット 佐藤　稔氏	遮蔽板　4枚	看護協会
公益社団法人日本看護協会	サージカルマスク　15000枚	配布先検討中
	防護服　300着	
	ガウン防護服　1000着	

令和2年度 山形県委託の新規事業のご案内

1 令和2年度山形県認定看護師等活用事業

今後、医療ニーズの増大が見込まれる在宅医療分野における質の高い看護の提供を図るため、また、中小規模施設の研修機会の確保と従事する看護職員に求められる能力の向上を目的として、県内の認定看護師等を活用した研修を実施します。

出前研修

- 期　間　令和2年8月1日(土)～令和3年2月28日(日)のうち希望する日時(原則として講座1回につき1時間から1時間30分)
- 場　所　申し込み施設が希望する場所
- 対　象　中小規模病院・診療所・介護老人保健施設・訪問看護事業所等に従事する看護職員等
- 内　容　希望する分野の認定看護師等を申込施設に派遣して研修を実施する
  開催に係る費用(講師謝金・交通費・資料印刷)は県で負担する
  必要な機材は実施施設で準備する
- 講　師　県内に勤務する専門看護師・認定看護師および特定行為研修修了看護師
- 申　込　公益社団法人山形県看護協会　教育研修課　(申込施設が20か所に達し次第受付終了とする)

2 令和2年度山形県訪問看護サービス事業者支援事業「専門看護師・認定看護師等派遣事業」

在宅ケアの対象者は重度化・多様化・複雑化しています。また、在宅移行支援、緊急対応、看取りまで、地域包括ケアの担い手として役割が期待されています。訪問看護等の質の向上や研修機会の確保のため、訪問看護ステーション等の個々の課題に即した実践的な研修を行ないます。

・期間・会場・講師は上記と同じ

- 対　象　県内に所在する訪問看護ステーション・老人福祉施設等
- 回　数　1施設1コース(全３回)
- 内　容　1回目:施設の課題抽出　2回目:課題解決に向けた研修実施　3回目:効果・評価
- 申　込　公益社団法人山形県看護協会　常任理事　鈴木　郁子　(申込施設が20か所に達し次第受付終了とする)

※詳しくは山形県看護協会のホームページをご覧ください

3 訪問看護担い手創出事業(短期体験型の実技支援)

病院等の看護師が短期間、訪問看護ステーションで研修し訪問看護の知識・技術を学ぶ機会を設けることで、院内の看護ケアや退院支援・調整業務など在宅療養支援の能力向上を図るとともに、ステーションにおいては、訪問看護の普及につなげ、病院との連携強化を図り、利用者の受け入れ体制整備を図ります。

入門コース（１日体験）、実践コース（２日から５日間体験研修）を考えています。

後日、案内いたしますのでご参加をお待ちしております。

山形県ナースセンターだより

2020年4月より

eナースセンター リニューアルオープン!!

eナースセンター QRコード

より見やすく、より使いやすく!

この度、よりわかりやすいサイトとなるように「eナースセンター」のデザインや一部の機能を見直しております。

デザインを一新し、スマートフォンやパソコン共に見やすいデザインになりました。

求職者

◆求人検索が「簡易検索」と「詳細検索」に分かれ、簡単に検索できるようになりました。
◆求人票の地図検索が一新され、GoogleMapsによる地図検索が可能となりより使いやすくなりました。

求人施設

◆各求人票のPRが可能な紹介文章入力欄や写真なども掲載可能となりました。
◆ブランクOK、60歳以上歓迎、夜勤なしなどの求人の特色としての項目も入力可能です。

※これまで「eナースセンター」をご利用の求職者・求人施設の方は、引き続きご利用いただけます。ログイン時、ユーザIDとパスワードをお忘れの方は、お問合せください。

潜在看護師等復職支援研修のご紹介

eラーニングを活用した復職支援研修

パソコンやスマートフォン・タブレットでいつでもどこでも学習することができます。基礎習得コースや院内全体研修コースなど57テーマを自宅にいながら受講可能です。視聴期間は、3カ月間です。

病院等施設実地研修

病院等で実際に基礎看護技術や感染予防と管理などの研修を受講・演習できます。研修期間は連続する3日もしくは1カ月の期間内に3日です。

※上記の研修対象者は、下記の通りです。

・看護師等免許を保持し、山形県内在住で現在未就業の者(内定している場合は不可)
・届出サイト「とどけるん」並びに「eナースセンター」に登録をしている者
・就業後確認の協力が可能な者
・パソコンまたはタブレット、スマートフォンの基本操作ができる者(eラーニングの場合)

看護知識や看護技術に不安があって、再就職をためらっている皆さん!
最新の看護の動向や基本的な知識・技術を学びませんか?
詳細については、山形県看護協会ホームページをご覧ください。

山形県ナースセンターの ★新しいイメージキャラクター★が 誕生しました!!

山形名産「さくらんぼ」をモチーフとしたナース姿の男の子と女の子。目を輝かせ、かわいい笑顔をみせてくれます。今回、山形県ナースセンターのイメージキャラクターが誕生しました。「看護職の皆さまの心に寄り添い、未来を担う看護職を応援していきたい!」との願いが込められています。これからいろいろな場面で活躍していきますので、よろしくお願いします。

～看護の仕事相談会～

私たちが地域で活躍する 地域相談員です!

置賜地域担当 熊澤

寒河江・村山担当 大熊

最上地域担当 星川

庄内地域担当 富樫

県内ハローワーク等の会場をお借りして、月1回開催をしている「看護の仕事相談会」。看護職の方のお仕事探しはもちろん、看護職を求めている求人施設の相談や、看護学校への進学を考えている方、職場内での悩みを抱えている方など…どんな小さな相談にも応じます。経験豊富で、各地域に精通した4名の地域相談員がお待ちしております。お気軽にご相談ください。

★ナースセンターへの登録・相談は無料です
★ナースセンターでの相談は雇用保険受給者の求職活動に該当します。

6月から再開しています!

ハローワーク等での「看護の仕事相談会」相談時の注意点について

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、県内ハローワーク等で開催している「看護の仕事相談会」を中止しておりましたが、6月から再開しております。

開催にあたって、ご利用の皆様に相談時の感染予防対策をお願いしております。ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力お願いします。

ご不明な点は、相談員にお尋ねください!

☆ 相談前の検温実施
☆ マスクの着用
☆ アルコール消毒液による手指消毒
☆ 相談時間は1時間以内とする

※山形県ナースセンター内での相談は、当面の間「予約制」とさせていただきます。前日の16時までにお電話等でお申込みください。これまで通り、電話やメールでの相談も受けつけております。

「看護の仕事相談会」予定は、
山形県看護協会ホームページをご覧ください。
(今年度、会場が変更になっている相談会もありますのでご注意ください)

LINE@はじめました。

すでに「お友達」登録していただいた方、いらっしゃいますか?

山形県ナースセンターでは、「LINE@」を開設しています。求職登録者の皆さまに、求人情報、各病院等で実施する復職支援研修情報、医療機関施設情報等の看護に関する情報提供を行うことにしました。これまでは、イベント・救護の求人情報提供をお電話で行ってきましたが、今後は「LINE@」を利用し情報発信していく予定です。イベント・救護のお仕事をお引き受けいただける日程がありましたら、ナースセンターまでご連絡をいただくことにしていきたいと思います。また、「LINE@」ご登録者の把握は、ナースセンターでも致し兼ねますので、イベント・救護のお仕事の情報提供をご希望の方は、ぜひこの機会にご登録お願いします!

※サービス利用上の規約に関して「山形県看護協会」HP内の「山形県ナースセンター SNS運用ポリシー」をご覧ください。当サービスの利用料は無料です。ただし、サイト閲覧を行う環境(通信料金等)は利用者の負担となります。

「お友達登録」お願いします

ID検索 @569jdrqd

QRコード

届出制度「とどけるん」 ライフスタイルに合った働き方を一緒に考え支援します!

登録者:1,230名(令和2年7月1日現在)

届出制度とは、保健師・助産師・看護師・准看護師の免許を持ちながら、その仕事に就いていない方に、氏名や連絡先などを都道府県ナースセンターへ届け出ていただく制度です。届出情報をもとに、都道府県ナースセンターが離職中の看護師等の方とつながりを保ち、それぞれの状況に応じて、復職に向けた研修、無料の職業紹介、相談員によるアドバイスや情報提供等の支援を行います。

メールで定期的に情報提供等をおこなっておりますが、「メールが届かない」方がいるようです。
住所やメールアドレスなど登録内容に変更がある方は、ご連絡ください。もちろん、「とどけるん」のホームページからも変更可能です!

とどけるん QRコード

山形県ナースセンター ☎023-646-8878(直通) /e-mail:yamagata@nurse-center.net

山形いぶき YAMAGATA IBUKI
山形いぶき 第150号 編集／広報委員会 発行／令和2年7月31日 公益社団法人山形県看護協会 〒990-2473 山形市松栄1-5-45(アルカディアソフトパーク山形内)TEL023-685-8033

カンタン！ 時短レシピ シリーズ 3

レンジで ピリ辛よだれ茄子

作り方

1. 長ねぎはみじん切りにします
2. ナスはヘタを切り落とし、5mm幅に切ります。耐熱ボウルに入れふんわりとラップをし、600wの電子レンジでしんなりするまで5分加熱します。
3. ボウルに1.①を入れ混ぜあわせます。
4. 器に2を盛りつけ、3をかけます。白いりごまを散らして完成です。

材　料（2人前）

茄子（計150g）
①しょうゆ　①砂糖　長ねぎ
①酢　①ラー油　白いりごま

山形看護協会事務局職員の入職・退職のお知らせ

入職者

ナースセンター利用促進員になって

ナースセンター利用促進員　渡邉　直子

２月から、ナースセンター利用促進員として勤務させていただいております。私自身もナースセンターにお世話になり、20年近い病院勤務と、15年以上のクリニックでの経験を生かしてはと、後押ししていただき看護協会職員となりました。ナースセンターのスタッフ皆様からの指導のもと、お仕事探しのお手伝いができればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

山形県看護協会に入職して

ナースセンター利用促進員　新宮　裕子

５年ぶりに看護協会で仕事をさせていただくことになりました。現場で働く皆様にフェイスシールドを作成したり、アンケート集計をさせていただいたりしております。このことを通し、看護協会は、山形県全体の医療・介護の現場に寄り添い支援しているのだということをあらためて強く感じています。このような状況の中でも看護職の皆様ができるだけより良く働けるようにお手伝いできたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

退職者

小松　良子（前常任理事）　本橋いづみ（前事業課担当）　遠藤　美喜（前ナースセンター嘱託職員）

インフォメーション

第51回（2020年度）日本看護学会学術集会WEB学会開催について

第51回日本看護学会―在宅看護―学術集会の開催が、新型コロナウイルス感染症の影響により、当日開催を中止し、WEB学会を開催することとしました。開催期間中に、４開催地7領域全てのプログラムを同時配信することになりました。

山形県看護協会閉館のお知らせ

夏季一斉休暇のため、下記期間は会館を閉館いたします。

令和2年8月13日(木)・14日(金)・15日(土)・16日(日)

★毎年8月14日に開催してまいりました「山形県看護協会夏まつり」山形大花火大会観賞会は、昨年度（令和元年度）を持ちまして開催終了とさせていただきました。
これまでのご来場に、深く感謝申し上げます。

「日本看護協会会員手帳2021年版」の予約注文について

ご希望の場合は、施設ごと取りまとめ、下記まで電話にてお申込みください。

＜受付＞
山形県看護協会　担当　佐々木
023-685-8033

※申込み期限：9月30日（水）

①定　価：1部　1,320円（消費税込）
②送　料：無料（県協会取りまとめ分のみ）

編集後記

新型コロナウイルス感染症は未だ終息ならない状況で、看護職の皆様も感染対策に尽力を尽くされていることと思います。研修やイベントなど自粛や延期など続いていますが、山形いぶき第150号より2人の新しい委員を加え、今年度の広報委員会活動を再開しました。ぜひご覧ください。